CODE BLUE
BECAUSE SECURITY MATTERS

報道関係者各位
プレスリリース

2025 年 9 月 22 日
CODE BLUE 実行委員会

日本最大級のサイバーセキュリティ国際会議「CODE BLUE 2025」公募講演（CFP）から 29 本を採択し、タイムテーブルが決定！

～人気コンシューマーデバイスのハッキングをはじめ、国家支援の脅威アクターの動向、さらには国際的な法学者が論じる「サイバー対処能力強化法」など多彩なラインナップ～

CODE BLUE 実行委員会は、サイバーセキュリティ国際会議『CODE BLUE 2025』（トレーニング：11 月 16 日～17 日、カンファレンス：11 月 18～19 日　於：新宿区・高田馬場）の講演タイムテーブルを発表しました。

CODE BLUE 2025

今年の講演者募集（CFP）には国内外から 550 件以上の応募があり、厳選された 29 本のセッションが採択されました。テーマは、コンシューマーデバイス（Google Pixel、Samsung Galaxy、Amazon Kindle）のセキュリティ、複数の自動車メーカーに影響を及ぼす RCE（リモートコード実行）、サイバー犯罪集団や国家支援の脅威アクターの動向、さらには国際的な法学者が論じる「サイバー対処能力強化法」など多岐にわたります。

1 日目は、セキュリティ技術を中心としたラインナップとなります。Google Pixel や Samsung Galaxy の SoC（System on Chip）の AI 処理を担うコプロセッサー（NPU：Neural Processing Unit）に発見された脆弱性、独自のファジング手法によって発見した macOS の Core Audio システムデーモンの脆弱性、複数の自動車メーカーで採用される Bluetooth スタックの脆弱性を悪用するエクスプロイトチェーンの構築など、いずれの講演も、その重大な影響は技術の深い掘り下げに裏打ちされています。

また、1 日目の最後には「AI と未来」をテーマにしたスペシャルセッションも用意されています（詳細は後日発表）。

2 日目は、サイバー犯罪対策、国家支援の脅威アクターの動向などを取り上げます。脅威アクターが用いるプラットフォームやディープフェイクの手法を詳細に分析した研究者による発表は、

防御側に新たな知見と実践的な洞察を提供します。また、NCO（国家サイバー統括室）の飯田氏のクロージングキーノートに関連して「サイバー対処能力強化法」を多角的に検討する２本の講演が実施されます。１本は、国際的な法研究者による法律の検証。もう１本は日米の法律家による比較研究です。今後、サイバー安全保障に関する取組みが本格化する中で、重要な示唆をもたらすでしょう。

講演会場はTrack1～3に分かれており、Track1ではメイントラックの講演、Track2では25歳以下のスピーカーによる「U25」やスポンサー企業による講演「Open Talks」、Track3ではオープンソースツールやプロジェクトを紹介する「Bluebox」などが行われます（スポンサー企業によるOpen Talksの詳細は後日発表します）。

＜写真：ほぼ満席となったCODE BLUE 2024のキーノートスピーチ
（デビッド・A・ダリンプル氏）＞

■Track1タイムテーブル
●1日目（11月18日）
開始時間　講演タイトル（スピーカー：以下すべて敬称略）

09:00　オープニング・キーノート Bend the Machine: The Hacker Path to Autonomy in the Real World　（デイビッド・ブラムリー）
09:55　AI加速型エクスプロイト：DSPコプロセッサー起点によるMTEを有効にしたPixelの侵害（パン・ジェンポン／ジェン・ビン・ジョン）
10:50　Exynosコプロセッサーと踊る：趣味と実益を兼ねたSamsung攻略（ジェン・ビン・ジョン／ムハンマド・ラムダン／パン・ジェンポン）
11:40　Agentic AIによる実践的ペネトレーションテスト自動化（豊田 宏明）
13:30　オーディオブックを表紙で判断するな：KindleでAmazonアカウントを乗っ取る（ヴァレンティーノ・リコッタ）

14:20　フレームをキャッシュして、カーネルストリーミングの脆弱性をキャッチする（Angelboy）
15:20　音の壁を破る：Mach メッセージ・ファジングによる CoreAudio のエクスプロイト（ディロン・フランケ）
16:10　Raspberry Pi Pico であらゆるマイクロコントローラーをハックする方法：トラフィック・モッキングによる簡易フォールト・インジェクション（トンレン・チェン）
17:00　PerfektBlue：自動車業界を制圧する汎用ワンクリック・エクスプロイト - Mercedes-Benz、Volkswagen、Skoda（ミハイル・エフドキモフ）
17:50　AI と未来に関するスペシャルセッション（詳細後日）

●2 日目（11 月 19 日）
開始時間　講演タイトル（スピーカー）

09:00　FINALDRAFT を解剖する：国家支援型マルチプラットフォーム・バックドアから得られる実用的なインテリジェンス（サリム・ビタム）
09:50　ディープフェイク（ニラドリ・シェーカル・ホレ）
10:40　クラウド全体への汚染拡大：SSRF の連鎖による Azure テナント侵害（CVE-2025-29972）（ウラジミール・トカレフ）
11:30　クラウドサービスにおけるブラインド・メモリ破壊のエクスプロイト（アンソニー・ウィームズ／シュテファン・シラー／サイモン・スキャネル）
13:20　必要なのは招待状だけ! Google カレンダーの招待でワークスペースエージェント向け Gemini を起動（オル・ヤイル／ベン・ナッシ／スタヴ・コーエン）
14:10　スクリーンの裏側：北朝鮮 IT 労働者の活動の実態（Stty K）
15:00　国家支援による「サイバー戦士」— 北朝鮮のリモート IT 労働者（アレクサンダー・レスリー／スコット・カルダス）
16:00　CCEL とサイバー防御・先制措置のあいまいな境界線：日本の法的・戦略的転換点（アンドレア・モンティ）
16:50　攻撃的サイバー作戦の比較研究 — 能動的サイバー防御 対 Hunt Forward（高橋 郁夫／モーガン・パース）
17:40　クロージングキーノート（詳細後日）（飯田 陽一）

■Track2 タイムテーブル（U25 のみ）
●2 日目（11 月 19 日）

開始時間　講演タイトル（スピーカー）
9:00　アンチデバッグのバイパス：実環境とシミュレーションのハイブリッドアプローチによる Rootkit 解析（ヨンシュー・ヤン／ヘンミン・ファン／ユーシュエン・ロウ）
9:50　セキュア・ブートはセキュアでない：Bootkit による現代オペレーティングシステムの乗っ取り（ジュンホ・リー／ヒョナ・ソ）

■Track3 タイムテーブル（Bluebox）

●1 日目（11 月 18 日）
開始時間　講演タイトル（スピーカー）

10:00　緊急避難所向け Azazel システム：Raspberry Pi 上で迅速に展開可能なポータブル SOC/NOC（スギタ マコト）
11:00　BIN2TL：Perfetto によるプログラム動作の可視化（マイケル・テロヤン）

13:00　自作ピボッティングラボ：内部ネットワーク探索の出発点（フランシスコ・カンテリ）
14:00　CPU のセキュリティ対策を可能にする Reduced Assembly Set Compiler の提案と実装（坂井 弘亮）
15:00　GHARF：GitHub Actions RedTeam Framework（マツモト ユウキ／クボ ユウスケ）

●2 日目 （11 月 19 日）
開始時間　講演タイトル（スピーカー）

10:00　CICDGuard の概要 – CICD エコシステムの可視化とセキュリティの統制（プラモド・ラナ）
11:00　ギャップに要注意：Windows イベントログの見落としを検出する（そして修正する!）（高橋 福助／田中 ザック）
13:00　TOAMI～投網～：フィッシングハンター支援用ブラウザ拡張ツール（坪井 祐一）
14:00　過去を掘り起こす：Ext4 と XFS のジャーナルからファイル操作履歴を再構築（小林 稔）
15:00　YAMAGoya: Open Source Threat Hunting Tool using YARA and SIGMA（朝長 秀誠／亀井 智矢）

※各講演の邦題やスピーカー名の表記は変更になることがあります。
※タイムテーブルの詳細は以下の公式サイトをご覧ください。また、各プログラムは変更になることがあります。
https://codeblue.jp/program/time-table/

■コンテスト・ワークショップの一部中止のお知らせ
CODE BLUE 2025 で予定しておりましたコンテスト・ワークショップのうち、「Drone Hacking」が開催中止となりました。楽しみにしてくださっていた皆様には、心よりお詫び申し上げます。

その他のコンテスト・ワークショップは、多彩なテーマで引き続き開催を予定しており、今後も追加のプログラムが決まり次第、順次お知らせいたします。
公式ウェブサイトにて詳細をご確認ください。
https://codeblue.jp/program/contests-workshops/

■CODE BLUE 2025　開催概要
日時：2025 年 11 月 16 日（日）～11 月 19 日（水）
主催： CODE BLUE 実行委員会
運営： CODE BLUE 事務局（株式会社 BLUE）
言語： 日英の同時通訳付き（※一部講演を除く）
形式： 対面形式開催

【トレーニング】
日時：2025 年 11 月 16 日（日）～11 月 17 日（月）
（各コースともに最小催行人数の設定あり）
会場：ベルサール新宿南口
（住友不動産新宿南口ビル 4F）
※各コースの参加費・詳細は公式サイトの Training ページをご参照ください。
（日本語） https://codeblue.jp/program/trainings/
（英語） https://codeblue.jp/en/program/trainings/

【カンファレンス】

CODE BLUE
BECAUSE SECURITY MATTERS

日時：2025年11月18日（火）～11月19日（水）
会場：ベルサール高田馬場
（住友不動産新宿ガーデンタワーB2・1F）
参加費：
1. カンファレンスチケット
（ネットワーキングパーティ参加費を含む、全エリア入場可能）
通常　98,000円（税込）：6月1日（日）～11月11日（火）
当日　128,000円（税込）：11月18日（火）～11月19日（水）当日会場にて
2. ビジターチケット
（入場エリアの制限や、ネットワーキングパーティへの参加不可などの制約あり）
通常　28,000円（税込）：6月1日（日）～11月11日（火）
当日　32,000円（税込）：11月18日（火）～11月19日（水）当日会場にて

事前参加登録：
公式サイトのRegistrationのページよりご登録ください。
（日本語） https://codeblue.jp/registration/
（英語） https://codeblue.jp/en/registration/
（プレス向け） https://codeblue.jp/press-registration/

■「CODE BLUE」について
『CODE BLUE』は、国内外のトップクラスの専門家が集う、サイバーセキュリティの国際会議です。今回で13回目の開催となり、サイバーセキュリティ専門家による最先端の講演と、国や言語の垣根を越えた情報交換・交流の機会を提供しています。多様な分野で活躍する世界トップレベルの専門家が一堂に会することで、日本を含むアジアのセキュリティの活性化や連携強化をはかること、および、国内・アジアの優秀な若手研究者を発掘し国際舞台へと後押しすることを目的に開催を続けています。

Webサイト：https://codeblue.jp/
SNS：〔X（旧：Twitter）〕https://x.com/codeblue_jp
〔Facebook〕https://facebook.com/codeblue.jp
〔LinkedIn〕https://www.linkedin.com/company/codeblue-jp

■スポンサーシップ募集
CODE BLUE 2025では、協賛企業様を募集しております（一部ランクは新規受付を終了しております）。
協賛をご検討いただける企業様向けに資料をご用意しておりますので、
ご関心がございましたら、ぜひお気軽にお問合せください。

【CODE BLUE スポンサー問合せフォーム】
https://forms.gle/hgjXCrH1GMKNFc9C9

【本件に関するお問合せ先】
CODE BLUE 2025　広報担当
Mail：press@codeblue.jp

※取材を希望されるプレスの方は登録について以下の公式サイトをご覧ください。

https://codeblue.jp/registration/press-registration/